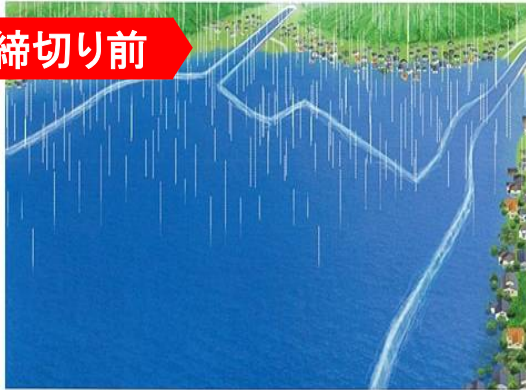


# 洪水の防止、常時の排水改善等に対する防災効果も発揮されており、地域住民の永年の悲願であった台風や大雨に対する安全で安心な暮らしが獲得

## 効果②: 洪水被害防止

調整池の水位を平均海水面より1.0m低く管理することにより、大雨時においても標高の低い背後地の雨水はスムーズに調整池に流れ込み、湛水被害を抜本的に改善しています。

締切り前



昭和57年7月(長崎大水害)

最大時間雨量 99mm  
総雨量 492mm

被害状況

農産物被害額は1億7百万円

湛水状況

湛水が4,5日継続

締切り後



平成11年7月

最大時間雨量 101mm  
総雨量 342mm

被害状況

農産物被害額は3百万円

湛水状況

湛水が発生したが同日中にはほぼ解消

## 効果③: 排水不良の改善

締切り前は、潮受堤防内側でもガタ土が堆積して周辺地域からの排水の支障となりちょっとした雨でも一帯が水浸しになっていましたが、締切り後はガタ土の堆積がなくなり、スムーズな排水が可能となりました。

締切り前



千鳥川左岸樋門

大開樋門出口付近



締切り後

